

平成 29 年度 宗像市郷土文化学習交流館事業 (4～9月)

1、入館者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H24年度	6,826	19,208	7,192	9,581	8,105	6,246	9,653	6,742	3,245	13,427	5,048	7,384	102,657
H25年度	10,677	9,483	6,854	9,167	3,995	10,552	12,598	10,556	7,624	16,310	9,330	10,464	117,610
H26年度	13,670	12,644	9,530	11,107	13,176	12,027	13,043	15,631	10,783	17,376	11,939	16,702	157,628
H27年度	15,685	15,362	11,368	12,356	13,182	14,352	16,144	15,043	9,169	14,063	10,027	11,286	158,037
H28年度	9,838	10,775	10,193	11,733	11,818	11,953	15,005	16,482	11,385	12,978	9,328	12,453	143,941
H29年度	11,185	14,073	12,462	15,119	14,799	15,755							83,393

◆宗像大社辺津宮と当館の入館者数 (9月)

	日	辺津宮	むなかた館	日	辺津宮	むなかた館	日	辺津宮	むなかた館	日	辺津宮	むなかた館	日	辺津宮	むなかた館
月				4	1,370	0	11	1,194	0	18	5,702	511	25	1,861	0
火				5	1,107	557	12	1,343	739	19	1,342	0	26	1,897	694
水				6	818	423	13	1,682	724	20	1,301	592	27	1,397	621
木				7	845	592	14	1,177	475	21	2,243	441	28	1,940	691
金	1	1,628	392	8	1,271	347	15	1,251	583	22	1,496	541	29	1,730	559
土	2	2,528	721	9	2,405	626	16	1,605	541	23	5,693	854	30	5,471	1,108
日	3	5,943	756	10	4,848	681	17	569	169	24	6,626	817	計	70,283	15,755

◆団体利用者の状況 (旅行会社、団体、学校)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
H27年度	13	194	18	565	24	1,037	19	493	15	350	26	886	115	3,525
H28年度	11	231	33	1,060	30	1,220	27	645	19	351	37	1,292	157	4,799
H29年度	29	647	45	1,541	53	1,473	47	1,176	48	1,307	82	2,378	304	8,522

2、展示事業

◆展示室リニューアル

- ・世界遺産説明パネル掲示
- ・世界遺産PRビデオモニター設置
- ・常設展示ブースに年表貼付

◆第2展示室

- 海の道むなかた館 5年間の軌跡 3/1～4/30
展示会やイベントなどの取り組みを紹介
- 宮本秋風作品展 5/2～9/18
世界遺産構成資産をモチーフにした版画作品等の展示
- 滝純一絵画作品展 9/26～10/29
当館に寄贈、寄託された油絵の展示

3、講座、イベント等

◆館長講座

開催日	内容	参加者数
4/9	日本のあけぼの～旧石器時代～	83
5/14	狩猟・漁労と採集の生活	70
6/11	農耕社会の形成と発展	81
7/9	古墳時代の成立～古墳時代前期～	83
8/6	ヤマト王権の形成と地域社会	67
9/10	律令国家の成立～奈良時代～	71

◆その他講座

- 記念講演&特別対談（世界遺産登録記念） 7/15
館長講演、長谷川法世氏・葦津宮司・館長の対談
参加者数；96人
- 世界遺産集中講座（世界遺産登録推進室主催）
宗像市と福津市の解説ボランティア対象にした講座
4/24、5/8、5/15、5/29、6/12、6/26
参加申込者数；5団体、110人

◆体験学習

	まが玉づくり			火おこし			土笛づくり			古銭鑄造		
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計
4月	89	0	89	2	0	2	2	0	2	22	0	22
5月	46	174	220	13	0	13	13	0	13	6	0	6
6月	252	128	380	3	0	3	9	0	9	28	0	28
7月	240	35	275	5	0	5	33	0	33	13	0	13
8月	529	0	529	18	0	18	12	0	12	29	0	29
9月	127	102	229	3	0	3	9	0	9	17	0	17
計	1,283	439	1,722	44	0	44	78	0	78	115	0	115

- GW企画 5/3～5
選べるまが玉；69人、石剣づくり；7人
土器づくり；6人
- 世界遺産登録記念 7/16
化石発掘；14人、ハンカチ藍染；9人
- 夏の課外授業
古代アートでエコバック；33人

◆ミュージアムコンサート

開催日	内容	参加者数
5/19	歌で綴る～姫神の物語	92
7/14	鎮国寺のお話と声明ライブ (世界遺産登録記念)	145
9/15	クラシックギターの夕べ ～波間に揺れるバルカローレ～	90

◆各種イベント (一部再掲)

項目	内容
世界遺産委員会 パブリックビューイング	(世界遺産推進会議主催) 7/8 ; 300人、7/9 ; 400人
世界遺産登録記念 (リニューアル記念)	ミュージアムコンサート 7/14 145人
	記念講演&特別対談 7/15 96人
	特別体験学習 7/16 23人
夏の課外授業	子ども考古学 教室 9人
	①考古学入門編 7/29
	②フィールドワーク 8/5
	③体験実習 8/19
	トヨタ自動車九州 ものづくり教室 ～衝突安全ボデー～ 7/30 48人
むなかた電子博物館 ～宗像の蝶を観察してみよう～ 7/30 24人	
古代アートでエコバックづくり 8/20 25人	

◆連携・協力イベント

- 宗像中学校・高等学校文化祭 5/27 まが玉づくり
- 夏の課外授業 (世界遺産登録推進室主催分)
 - ・世界文化遺産登録関連地を巡るまるごと親子バスツアー 7/29、7/30
 - ・宗像の歴史絵本を聞いてコラージュしよう 8/6
 - ・切り絵作家の指導で灯籠を切り絵で飾ろう 8/11
- 少年自然の家「玄海の家」作品展 海岸清掃で集めたごみで制作したオブジェ 7/21～8/31
- 玄海小学校作品展 調べ学習で制作した発表資料 9/1～9/3

◆その他

- 海の道むなかた館売店「宗像 蒼の社 (あおのおやしる)」リニューアルオープン 8/26

4、地域学芸員活動

◆活動の状況

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
協力者	延人数	協力者	延人数	協力者	延人数	協力者	延人数	協力者	延人数	協力者	延人数
55	163	56	179	58	176	55	168	57	199	58	181

登録者数 ; 73

- 地域学芸員説明会 6/16
- 展示オリエンテーション 7/11、7/13、7/26

◆地域学芸員活動の充実強化に向けて

- 企画案を作成し、意向調査（アンケートを実施）【別紙参照】
- 小学校受入時の対応を試行 7校
- 小学校への出前講座へ同行し研修 1校
- 市史編さん協力員としてみあれ祭調査

意見交換会を実施し
次につなげる (11/13)

参考、10月以降の事業計画

- 展示室、ロビー及び体験学習室のリニューアル
- 第2展示室
 - ・むなかた地区事務組合「わたしたちの水絵画コンクール」作品展 11/1～11/26
 - ・福岡県小学校児童画展入選作品展（時期未定）ほか
- イベント
 - ・みあれ祭陸上神幸 10/1
 - ・第4回むなかた模型作品展 11/18・19
 - ・正月イベント 1/1～1/3
- 休館日の在り方の検討

● これからの 地域学芸員 の取り組み ●

● 現 状 と 課 題 ●

地域学芸員発足して6年目

更なるステップアップ

世界遺産登録

ニーズの多様化

小中学校での世界遺産学習

当館での指導&ゲストティーチャー

● 得意分野を生かした取り組み ●

たとえば…

世界遺産についての
解説や案内ができる

体験学習の指導が得意
企画にも参画したい

展示やイベントなどの
企画運営にも参画したい

学校や地域でも
講座や指導ができる

写真や絵画、研究活動…
スキルを生かしたい

地域学芸員をはじめ
人材育成に参画したい

…“ヒト”が
むなかた館の魅力の一つ

● 基 本 的 な 考 え 方 ●

シーズ
地域学芸員

世界遺産解説
に詳しい

体験学習が
得意

事業の企画に
携わりたい

学校の授業に
協力したい

外国語が
話せる

趣味やスキル
を活かしたい

研究や執筆
活動がしたい

後進の指導に
協力したい

ニーズ
地域課題・行政課題

世界遺産
対応

体験学習
充実強化

学校や地域
での講座

小中学校
見学対応

調査研究
業務

展示・事業
企画運営

インバウンド
対応

学芸員の
新規募集

学習機会や活動の場の提供などの取り組み・支援

● 事業計画など ●

1、平成 29 年度の取り組み

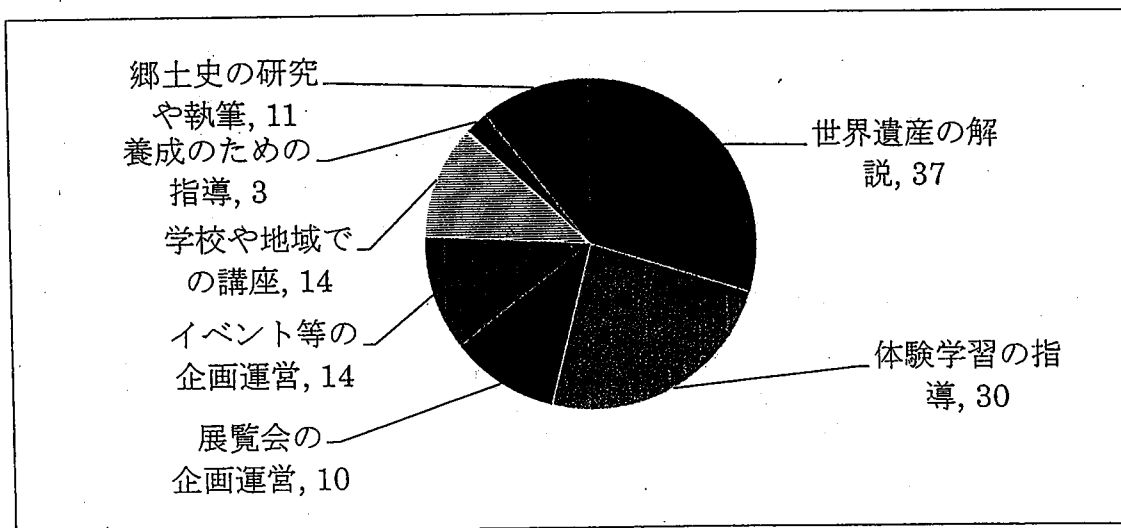
- ◆旅費基準をはじめ、要綱等の明確化
- ◆世界遺産集中講座の開催
- ◆宗像市・福津市小学生見学対応の変更検討及び試行
- ◆市史編さん事業への協力
- ◆アンケートによる意向調査
- ◆意見交換会等行い、今後の活動につなげる。

2、平成 30 年度の取り組み

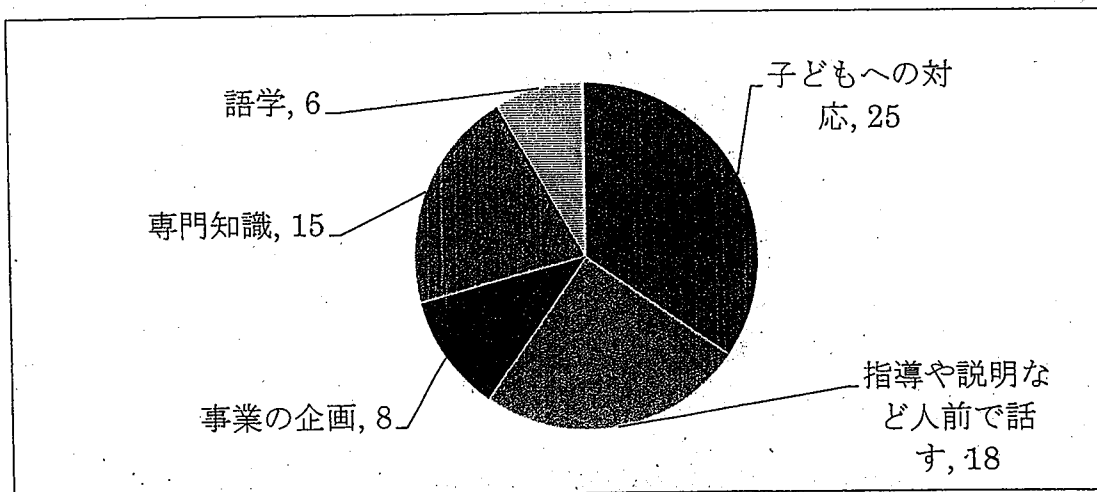
- ◆各種事業の具体化
- ◆上級講座の実施
- ◆新規学芸員の募集、養成

● 意向調査の結果 ●

- 1、現在取り組んでいることや今後取り組んでみたい分野、興味がある事について教えてください。
 なお、館外での活動も含まれます。【複数回答可】



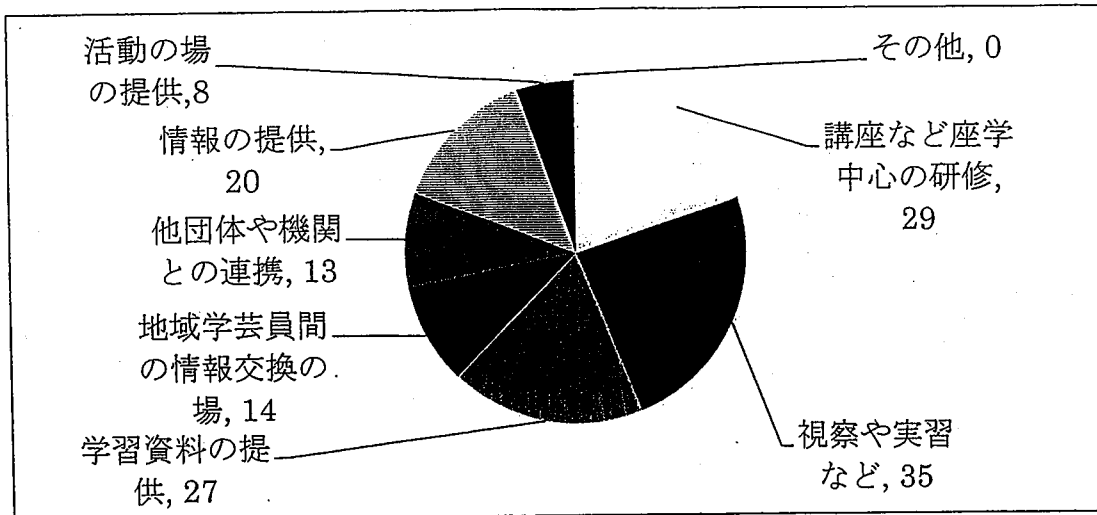
- 2、ご自身の得意なことや好きなことを教えてください。【複数回答可】



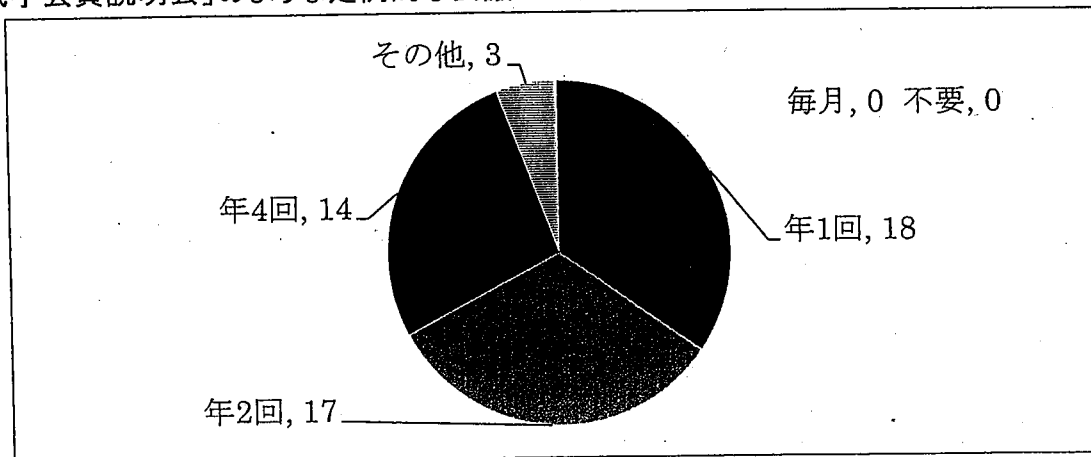
【得意分野の具体例】

絵画、彫刻、陶芸、写真撮影、俳句、短歌、囲碁、絵手紙、校閲、学芸員資格、教員免許、レイアウト、接客、導線・環境整備、建築、世界遺産検定、韓国語、英語など

3、地域学芸員活動を進めていくうえで、海の道むなかた館で行ってほしい講座や事業を教えてください。【複数回答可】



4、「地域学芸員説明会」のような定例的な会議について、必要と思われる頻度を教えてください。



●その他意見等

・世界遺産先進地のボランティア活動の実態を見たい。・展示替えや企画展の前に、企画者の思いを知りたい。・福津市との連携。・関連施設との休館日の統一。・世界遺産とグローバルな視点からの比較のため、年表が必要。・ジオラマの新作、更新を。・レプリカの展示を望む。・世界遺産センター、文化交流施設として愛される場になる工夫を。・インフォメーションの充実。・情報伝達をスムーズに。

【回答数；55】

平成29年7月9日

「『^{かみやど}神宿る島』^{むなかた}宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産一覧表への
記載決定について（第二報）

我が国が世界文化遺産へ推薦を行っている「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」について、第41回世界遺産委員会が8つの構成資産全てを世界遺産一覧表へ記載することを決定しました。

1. 決定時刻：

現地時間 7月9日（日）10：47
（日本時間 7月9日（日）17：47）

2. 資産名：「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」

3. 構成資産：沖ノ島（^{むなかたたいしやおきつみや}宗像大社沖津宮）、^{こやじま}小屋島、^{みかどばしら}御門柱、^{てんぐいわ}天狗岩、
^{むなかたたいしやおきつみやようはいしよ}宗像大社沖津宮遙拝所、^{むなかたたいしやなかつみや}宗像大社中津宮、^{むなかたたいしやへつみや}宗像大社辺津宮、
^{しんばる}新原・^{ぬやまこふんぐん}奴山古墳群

4. 世界遺産委員会における決議要旨及び主な審議内容：

<決議要旨>

・「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」を評価基準（ii）、（iii）の下に「記載」する。

<主な審議内容（決議の概要は別紙参照）>

- 8つの構成資産は、文化的・歴史的に結びついた一体のものであり、本資産の価値を理解するためには8つ全ての構成資産が必要である。
- 本資産は、航海安全を祈願する信仰が古代から現在まで断絶なく続いていることを示しており、価値が高い。
- 航海に関する資産は、今の世界遺産一覧表には少ない分野であり、本資産が世界遺産一覧表へ加わることは、世界遺産一覧表の質の向上に貢献する。

○ 沖ノ島へ女性が立ち入ることができないことについて委員国より質問されたところ、我が国より、①沖ノ島へ立ち入ることができるのは原則として神職だけであること、②資産の保全・管理には多くの女性が主体的にかかわっていること、を説明した。

(参考) 世界遺産委員会による決議の4つの区分

- ① 記載 (Inscription) : 世界遺産一覧表に記載するもの。
- ② 情報照会 (Referral) : 追加情報の提出を求めた上で次回以降に再審議するもの。
- ③ 記載延期 (Deferral) : より綿密な調査や推薦書の本質的な改定が必要なもの。推薦書の再提出後、約1年半をかけて再度諮問機関の審査を受ける必要がある。
- ④ 不記載 (Not to inscribe) : 記載にふさわしくないもの。(世界遺産委員会で不記載決議となった場合、例外的な場合を除き再推薦は不可。)

<担当> 文化庁文化財部記念物課

課 長 大西 啓介

専門 官 中村 崇志

文化財調査官 下田 一太

電話 : 03-5253-4111 (代表) (内線 2877)

03-6734-2877 (直通)

(別紙)

『^{かみやど}神宿る島』^{むなかた}宗像・沖ノ島と関連遺産群』にかかる決議概要

(1) 記載の可否と評価基準

- 「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」を、評価基準(ii)及び(iii)に基づいて世界遺産一覧表に記載する。
- 暫定的な顕著な普遍的価値の言明に留意する。

(2) 追加的勧告

- 締約国が以下について検討するよう勧告する。
 - a) 「保存活用協議会」を設立し、資産の所有者代表を参画させること。
 - b) 他の関係者の役割及び彼らによる管理体系を明確化し、資産の管理において彼らが効果的に共同できるようにすること。
 - c) 洋上または陸上における風力発電施設の建設について、「適切に制限されている」とするだけでなく、資産範囲及び緩衝地帯、さらには資産範囲外であっても構成資産の視覚的完全性に影響を及ぼしうる範囲において、完全に禁止すること。
 - d) 遺産影響評価の手法を管理システムに組み込むこと。
 - e) 計画中の開発事業のうち、資産のOUV及び属性に影響を及ぼしうるものについては遺産影響評価を行い、その結果について世界遺産委員会及びイコモスにおいて検討できるよう、事業の承認及び着手にかかるあらゆる最終決断が行われる前に報告すること。
 - f) 緩衝地帯の東南角に位置する山体について、山頂を緩衝地帯内に含むこと。
 - g) 沖ノ島に対する違法な上陸及び船舶の接近の増加が懸念される点について考慮すること。
 - h) 締約国及び関係国間で、交易、航海、及び信仰に関する研究を継続・拡充させること。

「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」

かみやど

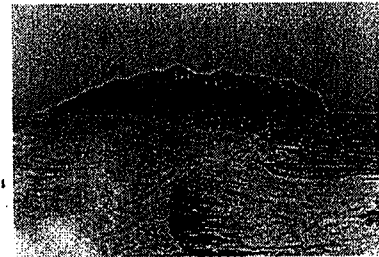
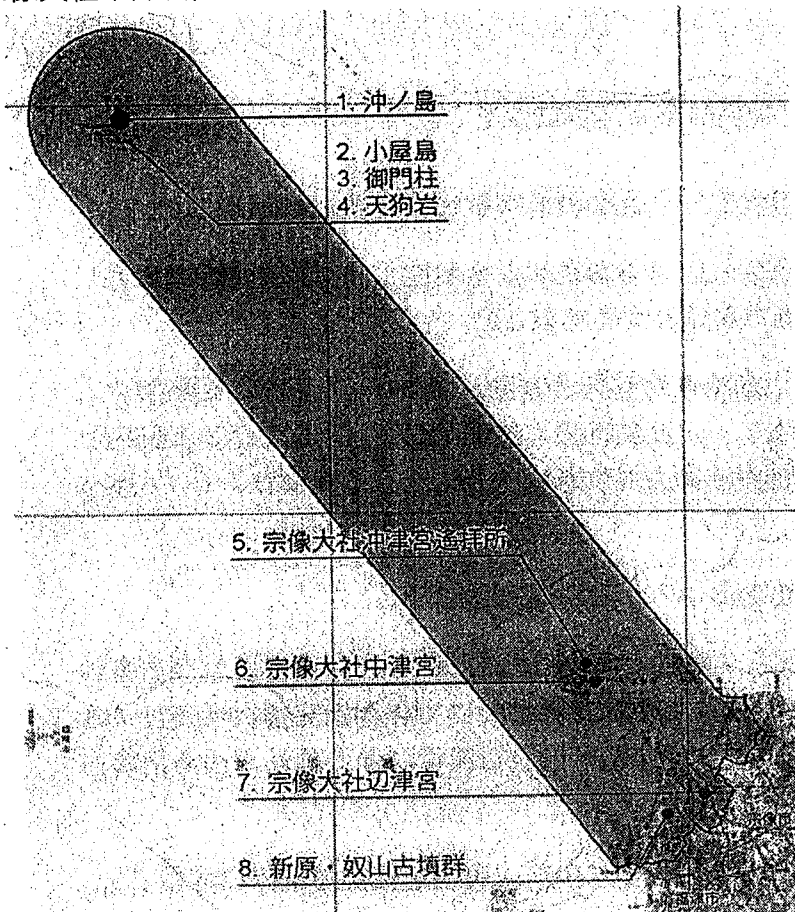
むなかた

本資産は、「神宿る島」沖ノ島を崇拜する文化的伝統が、古代東アジアにおける活発な対外交流が進んだ時期に発展し、海上の安全を願う生きた伝統と明白に関連し今日まで継承されてきたことを物語る稀有な物証である。

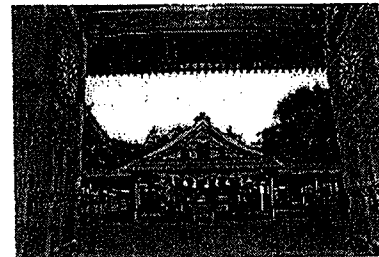
沖ノ島には4世紀から9世紀の間の古代祭祀の変遷を示す考古遺跡が、ほぼ手つかずの状態まで残されてきた。沖津宮、中津宮、辺津宮の古代祭祀遺跡を含むこれらの三つの場は、宗像大社という信仰の場として現在まで続く。18世紀までには成立した沖津宮遙拝所は、上記で述べたような沖ノ島を遙拝する信仰の場である。そして、その信仰を担い育んだ宗像氏の存在を物語る資産が、新原・奴山古墳群である。

【構成資産】

むなかたたいしやおきつみや おきのしま こやじま みかどぼしら てんぐいわ むなかたたいしやおきつみやようはいしよ
宗像大社沖津宮 (沖ノ島, 小屋島, 御門柱, 天狗岩), 宗像大社沖津宮遙拝所,
むなかたたいしやなかつみや むなかたたいしやへつみや しんぼる ぬまこぶんぐん
宗像大社中津宮, 宗像大社辺津宮 (以上, 福岡県宗像市), 新原・奴山古墳群 (福岡県福津市)



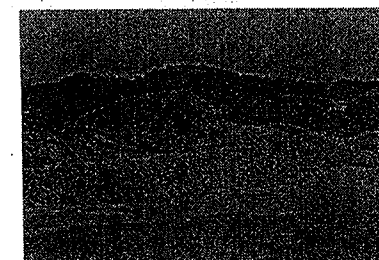
沖ノ島



宗像大社辺津宮



沖津宮遙拝所



新原・奴山古墳群

【関係年表】

- 平成21年 暫定一覧表に記載
- 平成28年1月 ユネスコへの推薦書提出にかかる閣議了解
- 同年同月 推薦書の提出
- 同年9月7日～11日 イコモス現地調査
- 平成29年5月 イコモス勧告
- 同年7月9日 第41回世界遺産委員会(クラクフ)において、世界遺産一覧表への記載が決定

世界遺産について

1. 世界遺産条約（世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約）

(1) 条約の目的

文化遺産及び自然遺産を人類全体のための世界の遺産として損傷、破壊等の脅威から保護し、保存することが重要であるとの観点から、国際的な協力及び援助の体制を確立すること。

(2) 経緯

昭和47（1972）年 第17回ユネスコ総会において採択
 昭和50（1975）年 条約発効
 平成4（1992）年 我が国において条約締結のための国会承認及び条約発効
 平成29（2017）年 1月31日現在で締結国数193カ国

2. 世界遺産一覧表への記載プロセス

- ① 各締約国は、世界遺産一覧表への記載推薦の候補を記載した「暫定一覧表」を提出する。
- ② 各締約国は、「暫定一覧表」の記載物件のうち、「世界遺産一覧表」に記載する準備が整ったものを世界遺産委員会へ推薦する。これに対し、世界遺産委員会が、「世界遺産一覧表」への記載の可否を決定する。

3. 我が国の世界遺産一覧表記載物件（文化遺産17件、自然遺産4件）

	記載物件名	所在地	暫定一覧表記載年	世界遺産一覧表推薦年	世界遺産一覧表記載年	区分
1	法隆寺地域の仏教建造物	奈良県	4年	4年	5年12月	文化
2	姫路城	兵庫県	〃	〃	〃	文化
3	屋久島	鹿児島県	〃	〃	〃	自然
4	白神山地	青森県、秋田県	〃	〃	〃	自然
5	古都京都の文化財 (京都市、宇治市、大津市)	京都府、滋賀県	〃	5年	6年12月	文化
6	白川郷・五箇山の合掌造り集落	岐阜県、富山県	〃	6年	7年12月	文化
7	原爆ドーム	広島県	7年	7年	8年12月	文化
8	厳島神社	広島県	4年	〃	〃	文化
9	古都奈良の文化財	奈良県	〃	9年	10年12月	文化
10	日光の社寺	栃木県	〃	10年	11年12月	文化
11	琉球王国のグスク及び関連遺産群	沖縄県	〃	11年	12年12月	文化
12	紀伊山地の霊場と参詣道	三重県、奈良県、和歌山県	13年	15年1月	16年7月	文化
13	知床	北海道	16年	16年1月	17年7月	自然
14	石見银山遺跡とその文化的景観	島根県	13年	18年1月	19年7月	文化
15	小笠原諸島	東京都	19年	22年1月	23年6月	自然
16	平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-	岩手県	13年	18年12月 22年1月	23年6月	文化
17	富士山-信仰の対象と芸術の源泉	山梨県、静岡県	19年	24年1月	25年6月	文化
18	富岡製糸場と絹産業遺産群	群馬県	19年	25年1月	26年6月	文化
19	明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県・山口県・岩手県・静岡県	21年	26年1月	27年7月	文化
20	ル・コルビュジエの建築作品 - 近代建築運動への顕著な貢献	東京都(他 フランス、ドイツ、スイス、ベルギー、アルゼンチン、インド)	19年	27年1月	28年7月	文化
21	『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群	福岡県	21年	28年1月	29年7月	文化

4. 我が国の暫定一覧表記載物件（文化遺産8件、自然遺産1件）

[平成4年]

- ① 「古都鎌倉の寺院・神社ほか」(神奈川県)
- ② 「彦根城」(滋賀県)

[平成19年]

- ③ 「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」(奈良県)
- ④ 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」(長崎県・熊本県) → (平成29年推薦)

[平成21年]

- ⑤ 「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」(北海道・青森県・岩手県・秋田県)

[平成22年]

- ⑥ 「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」(新潟県)
- ⑦ 「百舌鳥・古市古墳群」(大阪府)

[平成24年]

- ⑧ 「平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-(拡張)」(岩手県)

[平成28年]

- ⑨ 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」(鹿児島県・沖縄県)【自然遺産】

「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」
世界遺産一覧表への記載決定に当たっての

松野 博一 文部科学大臣談話

ポーランドのクラクフで開催されている第41回世界遺産委員会において、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が、人類全体の貴重な遺産として世界遺産一覧表に記載されることが決定されたことを大変喜ばしく思います。

また、関係者の熱心な説明により、本資産が古代から連続と受け継がれてきた信仰を現代まで伝える遺産であることについて世界遺産委員会の理解が得られ、最終的に全ての構成資産を登録できたことを心から喜んでいます。

改めて、貴重な文化財を今日まで大切に守り伝えてこられた地域の人々や、関係者の皆様方のご努力に心からの敬意を表します。

文部科学省としては、地元の関係各位と連携しながら、人類の共通の宝である貴重な世界遺産の保護に万全を期し、後世に確実に引き継ぐとともに、積極的に発信してまいります。